

インフルエンザの流行について

2025年 3月 24日

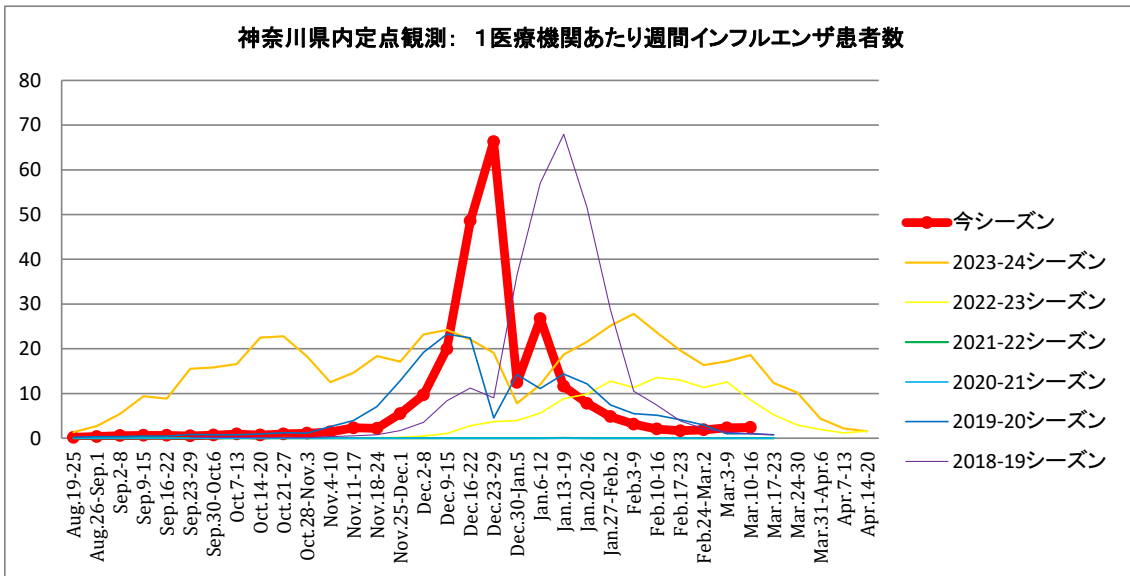
インフルエンザの流行は通常12月初旬から2月下旬にかけてです。2018-19シーズン(下図:紫色のライン)は、その典型的なパターンを示しています。

2019-20シーズンは、12月にピークを迎えた特殊な流行パターンで、感染者数も例年より少なめとなりました。

2020-21シーズンと2021-22シーズンは、コロナ禍におけるさらに特殊なパターンで、インフルエンザの発生報告は極めて少ない状況で推移しました。

2022-24シーズンと昨シーズンは、流行は緩やかながら長く続きました。

今シーズンは12月下旬がピークでした。



(図:神奈川県衛生研究所 感染症週報のデータより作成)

●インフルエンザとは

非常に感染力が強いウイルスです。急に出現する発熱、悪寒を特徴とし、頭痛、咽頭痛、筋肉痛、咳、鼻汁などの諸症状をもたらします。感染経路は飛沫感染や接触感染が主です。

●感染してしまったら

- 1.上記のような症状が見られたら、**症状のある期間は登校・出勤せず**、症状がひどい場合は、自宅近くの病院を受診してください。
- 2.症状が軽快したのちも、2日間は登校・出勤を控えて下さい。

学校保健安全法施行規則（平成24年4月1日省令施行）に定めるインフルエンザの出席停止の期間は、**発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで**、となっています。

●感染を予防するには

- 1.食事の前、外出後には、**石けんと流水でよく手を洗ってください**。
- 2.部屋の換気をこまめに行うようにしましょう。
- 3.部屋の湿度は、加湿器などで50～60%に保つと良いでしょう。